

## 面接・人事評価研修

(一財) 公共経営研究機構 名前 小川 眞澄

皆さん、こんにちは。「面接・人事評価研修」の担当講師、小川眞澄です。

この研修のねらいは、人事行政の要である採用、評価、育成について基礎的な知識とスキルを習得して、組織の人的資源を豊かにすることを目指していくことです。

そして、研修のポイントとして次の2点があります。

まず、一つ目は、組織の将来を担う人材を確保する担当者としての役割を把握し、採用面接官としての知識とスキルを習得することです。

二つ目としては、人事評価が能力・業績に基づく人事管理の基礎であると同時に、「人財育成」の意義を持っていることを再認識して、評価のレベルを合わせ、効果的な面接指導のポイントを学ぶことです。

では、次に研修の主な内容項目について記述します。

### <面接編>

1. 面接試験の目的：面接試験の特徴を確認し、面接試験の目的について考察します。
2. 面接試験において求められる職員像：「人材育成基本方針」に掲げられている各自治体の目指すべき職員像を確認し、採用試験において求める職員像は何かについて考察します。
3. 面接試験の基本的な流れとポイント
4. 面接官の役割：客観的事実から受験生特性のつかみ方、エントリーシートでの事前情報収集のポイントについて考察します。
5. 演習：面接のロールプレイング、意見交換、講評を行います。

### <人事評価編>

1. 人事評価制度の意義と重要性：法的根拠を確認し、目指すべき方向性を確認します。
2. 人事評価制度の仕組み：各自治体における人事評価制度の仕組みを確認します。
3. 評価者の役割：意見交換しながら再認識します。
4. 目標による管理（業績評価）の進め方：目標を立てることの意義、目標設定の手順、的確な目標設定のポイントについて考察します。
5. 面談の心構えと進め方：人財育成につなげる面談について、具体的な場面ごとに進め方や留意点について考察します。
6. 演習：面談のロールプレイング、意見交換、講評を行います。

今回の研修におきましては、講師のこれまでの経験や皆さんの経験なども踏まえながら実践的な内容としていきます。



(一財) 公共経営研究機構参与、小川法務事務所所長

行政書士、宅地建物取引士、気象予報士、フィナンシャルプランナー等の資格を有す

1961 年生まれ

1984 年 東北学院大学法学部法律学科卒業

同年 茨城県神栖町役場（2005 年から市政施行）入職

教育委員会、都市建設部、総務部職員課、企画部政策企画課等を歴任

2011 年 神栖市役所退職

同年から現在まで、法律、公文書、政策法務、問題解決、業務改善、人事評価、公務員倫理、キャリア形成等の研修講師としての数多くの自治体で活躍中